

測量計算 (TS・GPS)

A-SurveyPC

Windows

エース プロジェクト

2019/03

Ver2.63.0 で追加、された機能を説明します。

- ・ マーカー表示機能を追加
- ・ DXF、元配色表示を追加
- ・ ライカ(TPS1100 GSI8)、LP 変更
- ・ 距離文字の配置機能を追加

1、マーカー表示機能を追加

Android 版に、マーカー機能を追加しました。
PC 版で、マーカーを表示する機能を追加しました。
PC 版では、マーカーを配置する事はできません。
表示のみです。

表示条件

点名サイズ: 16

表示倍率: 1.6

画地を表示する

グリッドを表示する

線データを表示する

路線データを表示する

地図を表示する

ラインコントロールを表示する

DXFを背景表示する 

元配色表示にする

座標点検索: 10 ドット

距離文字を表示する

マーカーを表示する

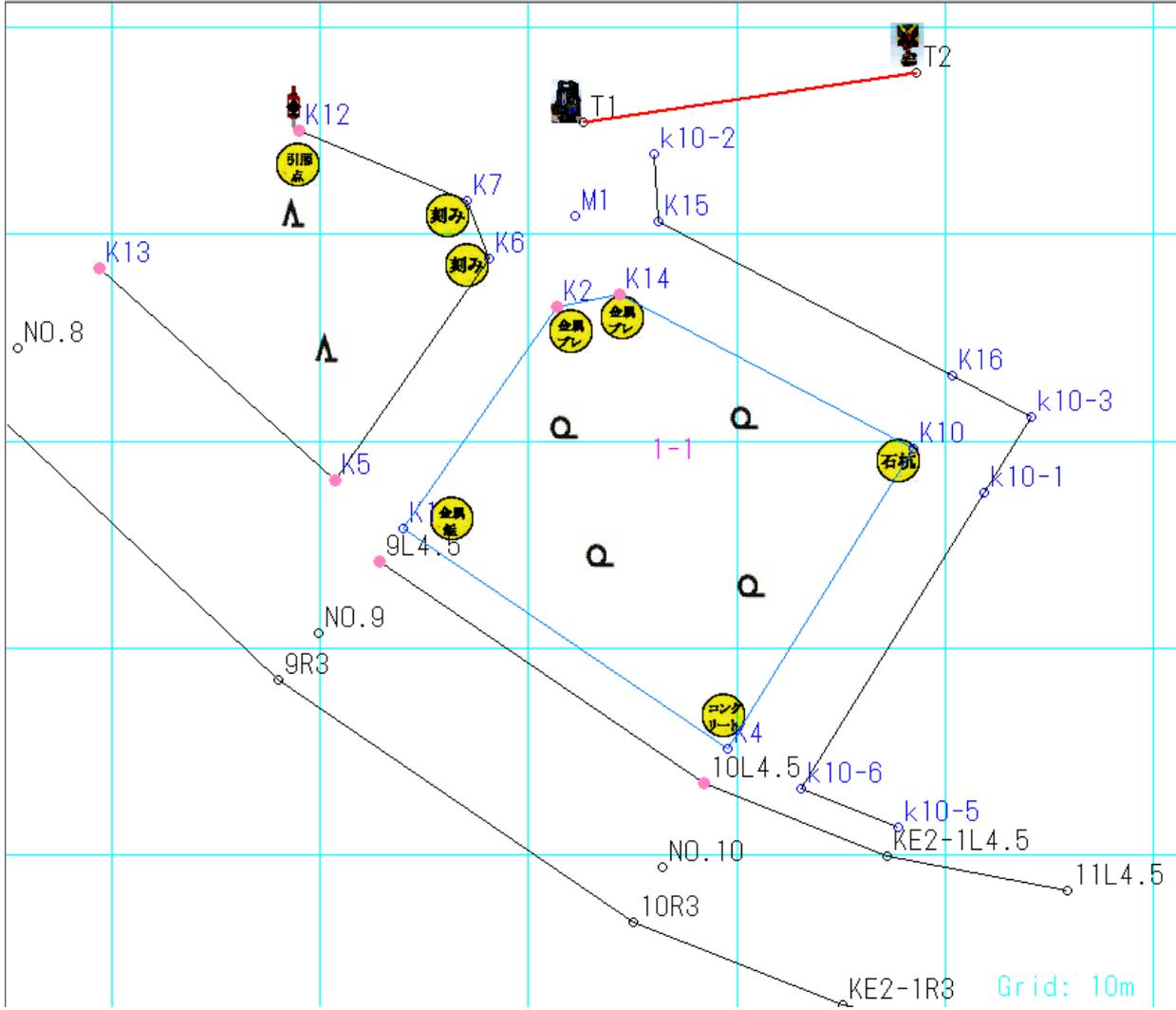
マーカーサイズ 32 ドット

OK

← 表示の ON, Off
マーカーの最大サイズ

器械	T1	後視	T2	X= 929.497 Y= 1201.381	
水平		鉛直	90.0000		
斜距		IH	0.000	FH	0.000
視準	K17	HV		<input type="checkbox"/> 結線	<input checked="" type="checkbox"/> 標高

拡大 (F1)	全体 (F2)	In(F3)	Out(F4)	測定 (F5)	BS(F6)	登録 (F7)	掘向 (F8)	手書 (F10)	(F11)	保存 (F12)
---------	---------	--------	---------	---------	--------	---------	---------	----------	-------	----------



黒	×
結線	文字
構図	記号
実線	
幅	0.000
<input type="radio"/> 左配置	
<input type="radio"/> 右配置	
リセット	
入力	削除
平行	直角
接続	編集

表示のみですが、沢山配置されている则表示が重くなります。

2、DXF、元配色表示を追加

DXF データは、単色で表示し背景として使用していました。
今回は、オリジナルの配色で表示も可能にしました。

表示条件 ×

点名サイズ:

表示倍率:

画地を表示する

グリッドを表示する

線データを表示する

路線データを表示する

地図を表示する

ラインコントロールを表示する

DXFを背景表示する

元配色表示にする

座標点検索: ドット

距離文字を表示する

マーカーを表示する

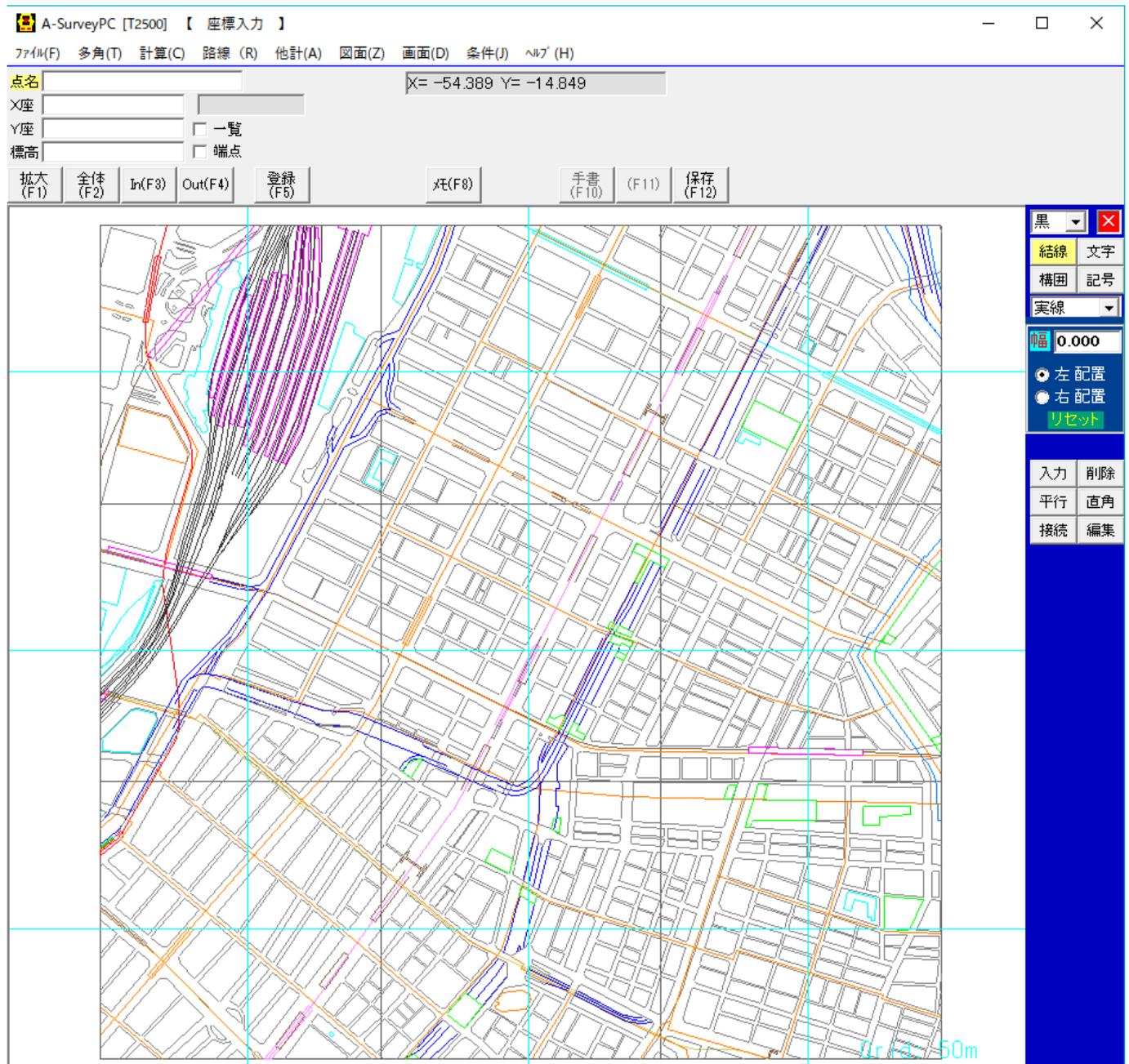
マーカーサイズ ドット

←— DXF データの色をオリジナルで表示します。

“元配色表示にする”にチェックをした場合です。

今回のバージョンで、DXFデータを読み込んだデータが有効です。

以前のDXFデータは、チェックを付けても元配色で表示されません。



3、ライカ(TPS1100 GSI8)、LP 変更

TS条件の“ライカ TPS1100(GSI8)”は、TPS1100での使用と 700シリーズなどの自動視準機での使用ができます。

そこで、TPS1100での使用かどうかの条件を追加しました。

TS条件

通信設定

ポート: 2 パリティ: N

ボーレート: 9600 データ: 8

フロー制御: なし ストップ: 1

モータ駆動 タイムアウト: 10

パラメータエラー非表示 ウェイト: 300

連続測距しないTS

P-in システムを使用

測量機

ライカTPS1100(GSI8)

サーチ P-in OK

ライカ サーチ

サーチ範囲

水平: 10 度

鉛直: 10 度

放射トラ、他

自動追尾 自動視準 なし

杭打ち、丁張

自動追尾 自動視準 なし

BS:自動視準しない

杭打ち振向は、水平のみとする

TPS1100

詳細 OK

← 追加されています。

TPS1100 で使用の方はチェックを付けてください。

700シリーズの方は、チェックを外してください。

LP や一部の命令を変更しています。

4、距離文字の配置機能を追加

Android 版の、3.0.0 で追加された機能と同じです。

「2点間、距離方向角」で、2点間の距離と方向角を表示する事ができます。
2点をタップか、点名の入力で表示できますが、この距離をプロット画面に残しておく機能です。

Android 版とデータ互換があります。

まずは、「表示条件」に追加されています。

表示条件

点名サイズ:

表示倍率:

画地を表示する

グリッドを表示する

線データを表示する

路線データを表示する

地図を表示する

ラインコントロールを表示する

DXFを背景表示する

元配色表示にする

座標点検索: ドット

距離文字を表示する

マーカーを表示する

マーカーサイズ ドット

OK

← チェックを付けると、距離文字を表示します。
これで、表示のON, OFFができます。

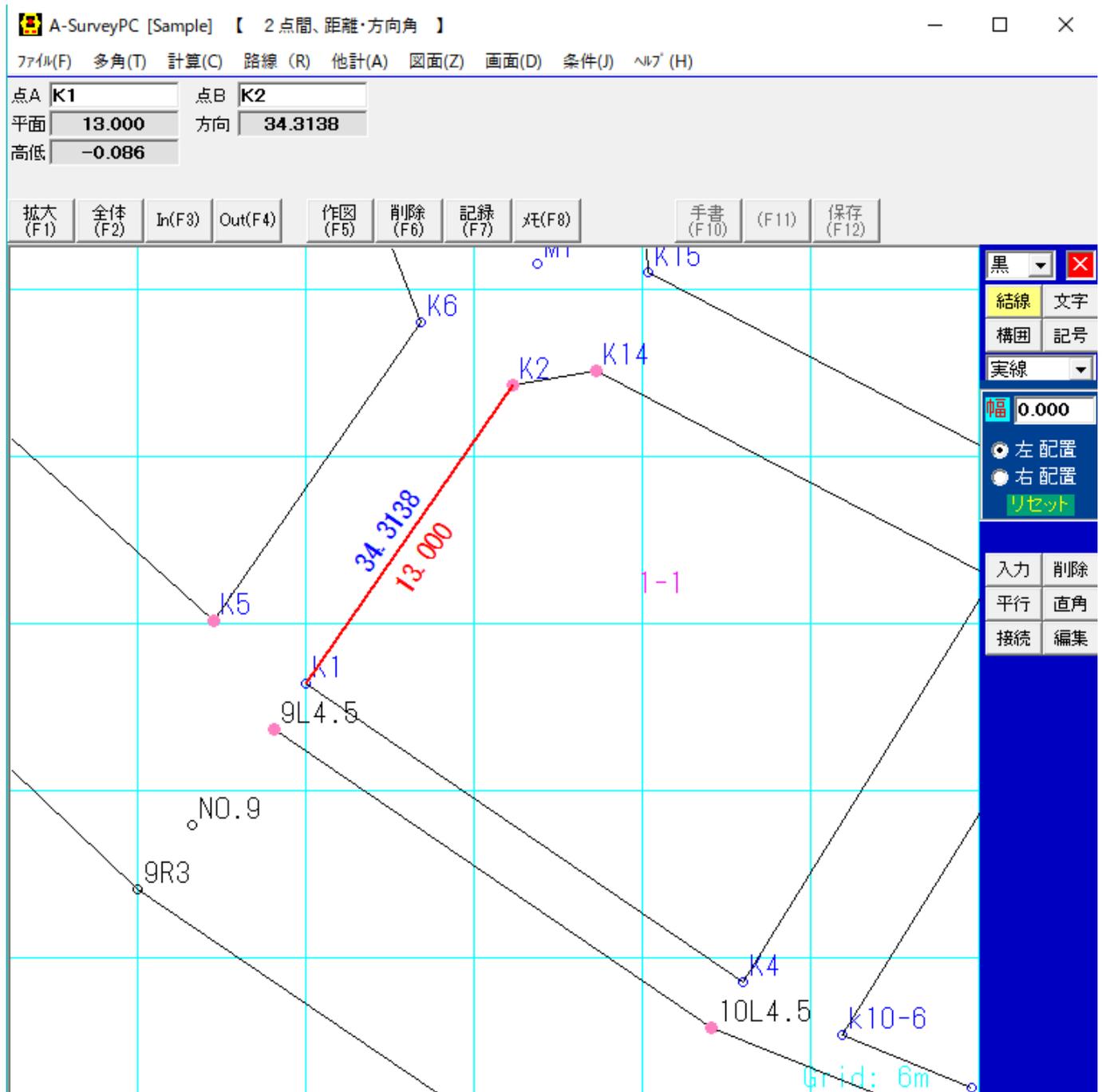
「2点間、距離方向角」に、「作図」と「削除」のボタンが追加されています。

距離が 13.000 と表示されています。

この距離の表示を残しておくのが、「作図」ボタンです。

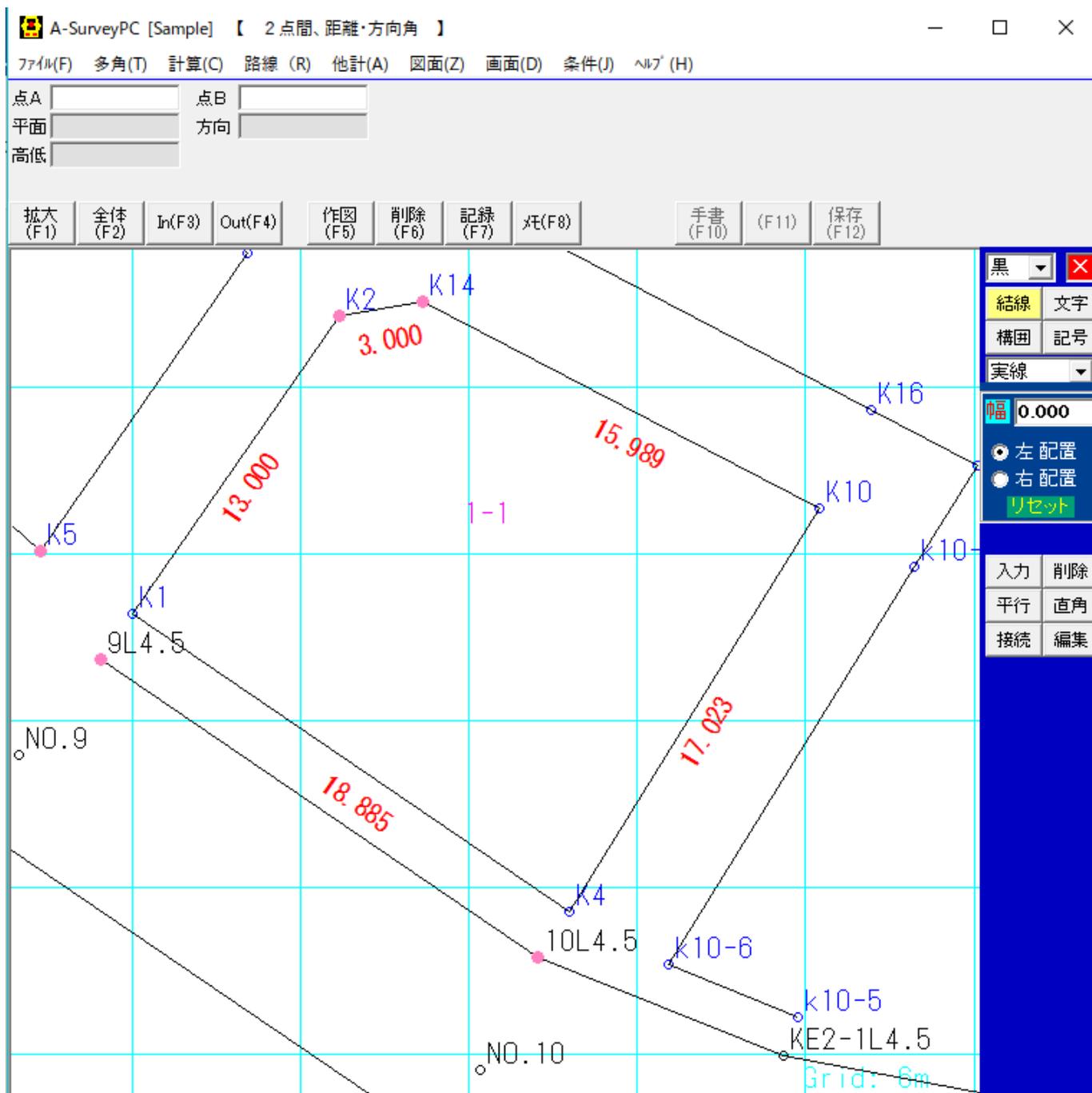
計算表示させてから、「作図」ボタンを1計算毎に押します。

距離文字がプロット画面に、残っていますね。



不要になったら、「削除」ボタンを押してから、不要な距離文字をクリックするとその距離文字が消えます。

「表示条件」で“距離文字を表示する”のチェックを外すと全て非表示にできます。



この距離文字は、表示するときに毎回計算をして表示しています。
よって、K14の座標を変更すると
K2-K14とK14-K10の距離は新たな座標で
計算され表示されます。

また、「計算条件」を変更すると変更された条件で、計算表示します。
この距離文字に影響する条件は、
“辺長の丸め”、“距離の表示”です。

“距離の表示”が球面距離の場合は、
“下記の入力値を使用”と
縮尺係数、平均標高、ジオイド高が
使用されます。

計算条件

縮尺投影 | 座標面積 | 2点ST | 多角 | ヘルプ

辺長の丸め(2点距離、ST計算、境界点間)

四捨五入 切り捨て

表示距離(2点距離、ST計算)

平面距離 球面距離

OK

計算条件

縮尺投影 | 座標面積 | 2点ST | 多角 | ヘルプ

トラバース 距離を補正する

後方交会 距離を補正する

杭打ち 距離を補正する

境界点間 距離を補正する

下記の入力値を使用する

縮尺係数 : 0.999934

平均標高 : 100.000

ジオイド高 : 34.000

OK